

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢・支援センター			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～	令和7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～	令和7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム	・土曜日や祝日の開所日、長期休暇期間には利用者様が楽しめる、通所したいと思えるイベントを毎日企画して実施している。また、日々の活動は職員が曜日ごとに交代で計画し、安全に配慮しながら実施している。 ・芸術活動、音楽活動など外部の講師を招いて利用者様の興味の幅を広げられるような取り組みをおこなっている。	・地域の利用できそうな施設などの情報に日ごろからアンテナを張り、イベントの幅が広げられるようにする。 ・日々の活動の中で利用者様が選択できるような内容を取り入れ、年齢や発達段階に合った活動を選ぶようにする。 ・活動やイベントの写真をSNS等を活用して保護者様に情報を届けられるようにする。
2	PT・OT等専門職の介入	・ご本人や保護者様と相談の上、必要に応じてPTやOTの個人訓練を行っている。医療機関から情報をいただき、必ず保護者様にフィードバックを行いながら進めている。 ・土曜日や長期休暇期間の時間を使って、集団OT訓練を実施している。対象のお子様以外のお子様にも参加していただいている。	・スタッフもPT・OTについて学ぶ機会や研修への参加などを増やし、お子様の体や訓練の内容についての知識を増やせるようにする。
3	法人内の連携	・放課後等デイサービス卒業後に法人内の就労継続支援や生活介護、共同生活援助を継続してご利用いただく方が増えている。そのため、情報共有や引継ぎがスムーズに行えている。	・放課後等デイサービス職員も、成人後の福祉サービスについて学び、利用者様1人1人に合ったサポートや提案ができるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他事業所との連携	・地域のイベントへ参加したり、他事業所と合同で行事を開催したりする機会が少ない。	・積極的に地域のイベントについての情報を手に入れるよう努める。 ・外部での研修会、勉強会に参加して、他事業所との情報交換を積極的におこなう。
2	SNSの十分な活用	・発行紙やHPを活用し、保護者様にお子様の様子や行事の予定などを伝えている。一方でSNSは、連絡手段として活用はしているが、十分に活用しているとは言えない。	・SNSを有効に活用し、お子様の様子を保護者様に伝えたり、情報の発信をおこなったりする。行事のあとやモニタリング時にも保護者様とお子様の様子を共有する。個人情報であるため、SNS活用の際には細心の注意を払う。
3	屋外で遊べる環境が少ない	・事業所周辺の屋外に公園や遊ぶスペースが少なく、車で移動しなければならない距離の公園等で遊んでいる。 ・隣接しているGHの裏庭を活用し遊ぶこともあるが、整備が十分にされていないため、危険なエリアを避けながら遊ぶことになり、お子様に満足していただけないこともある。	・土曜、祝日、長期休暇期間など、事前に計画できる場合は車で移動できる場所の公園、平日の放課後等はGHの裏庭を活用する。裏庭は、安全に使用できるように整備したり、職員配置を工夫したりして、十分楽しめるような空間にする。また、事業所近くに遊べるような施設がないか常に意識しておく。